



はぴふる

No.
47



「絆の会」

活動中です！ [4面]

もくじ

P.2 令和4年度中央区地域福祉推進フォーラムを開催しました！

P.3 外国にルーツのある方へのアンケート調査 報告

P.4 令和5年度 会費の協力と会員加入のお願い

善意のご寄付ありがとうございます

中央区社協 令和4年度事業報告・決算 令和5年度事業計画・予算



令和4年度中央区地域福祉推進フォーラムを開催しました！ 「認知症になっても安心して暮らせる地域をめざして」 令和5年3月4日(土)新潟市民プラザ ホール

参加者 会場:139名 オンライン:29名 合計:168名

内容 **・基調講演「認知症を取り巻く現状と共生に向けた様々な取り組みについて」**
講師:みどり病院認知症疾患医療センター センター長 成瀬 聡 様
・活動報告「共生を支える 地域の取り組み～それぞれの立場でできること～」

<コーディネーター>

みどり病院認知症疾患医療センター
センター長 成瀬 聡 様

<発表者>

「入舟地区 認知症はいかい模擬訓練」
チームオレンジinしもまち 須貝 秀昭 様

「女池小学校 福祉教育の取り組み」
新潟市立女池小学校 白崎 祥子 様



入舟地区 認知症はいかい模擬訓練の様子

地域住民と専門職が、はいかい行動が疑われる人への対応を学ぶ「認知症はいかい模擬訓練」を行いました。訓練を通して、地域での見守りと支え合いを進めることができました。



女池小学校 福祉教育の様子

「認知症サポーター養成講座」を受けた児童は、「認知症ってよく分からなかったから怖くてお年寄りには近付きたくなかった。」「私のおじいちゃん、認知症だと思う。」と休み時間に話していました。認知症を含む「福祉」は、決して特別なことではなく、日常の当たり前のことであることを児童に感じ、考えてもらう機会になりました。

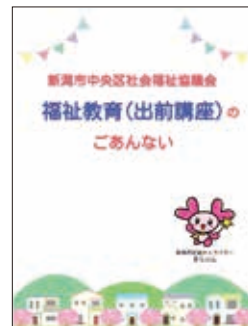


「福祉教育(出前講座)のごあんない」を作成しました！

学校・企業・地域のみなさんの福祉に関する学習について、企画や調整などのサポートを行います。
ぜひ、ご覧ください。



中央区社協ホームページから
ダウンロードできます。



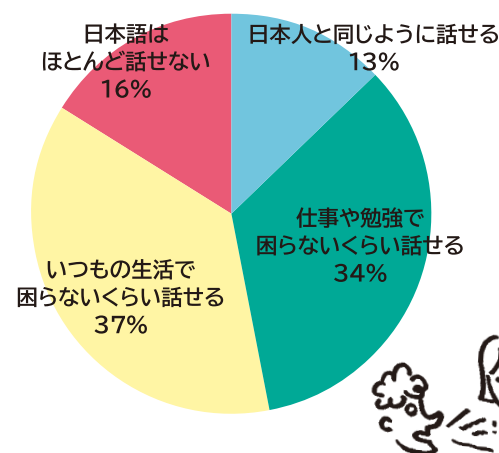
調査報告 外国にルーツのある方へのアンケート調査

新潟県には18,000人程の外国人の方が暮らしています。外国人のみなさんはどのような生活をしているのでしょうか？中央区社協では、県内の関係機関と共に多文化共生推進プロジェクトチームを立ち上げました。チームメンバーとの検討を重ね、2022年10月に県内に住む外国にルーツのある方を対象としたアンケート調査を実施しました。その結果、1,044名、36の国・地域の方から回答をいただきました。回答結果をもとに、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

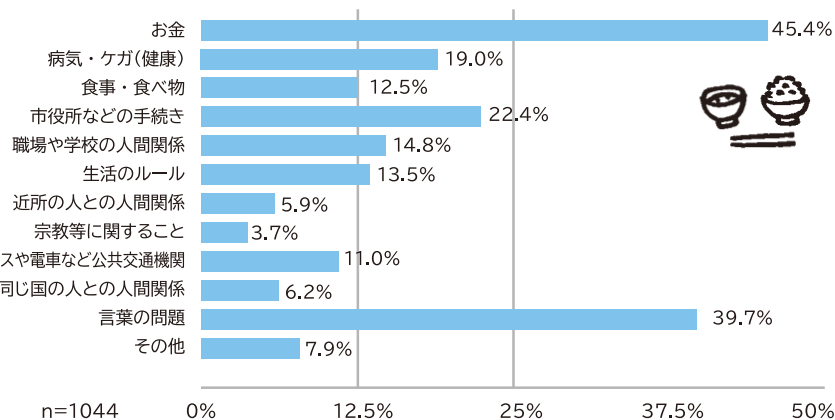


調査結果

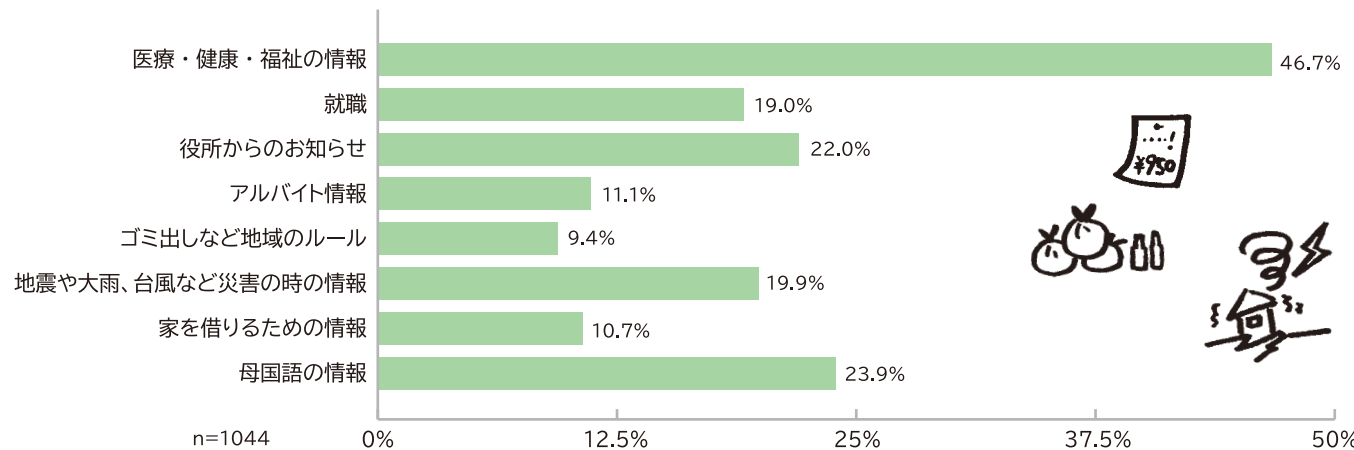
日本での会話の程度



日本で生活する上で困っていること（複数回答）



日本での生活で手に入らなくて困っている情報（複数回答）



「日本で生活する上で困っていることはなんですか？」という質問では、「お金」が45%、「言葉の問題」が40%でした。日常的に言葉の不安や経済的な心配を抱えながら暮らしている方が多いことが分かりました。また、47%の人が医療・健康・福祉の情報が手に入らなくて困っているということが分かりました。



令和5年度 会費の協力と会員加入のお願い

社会福祉協議会の活動は、会員の皆様からご協力いただく会員会費によって支えられています。活動の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

一般会費	1世帯 400円
特別会費	福祉施設・福祉団体 2,000円
賛助会員	企業 5,000円(一口) 団体 2,000円

令和4年度(中央区)の実績

一般会費の総額 12,071,023円(476件)

賛助会費の総額 907,500円(153件)



善意のご寄付ありがとうございます

新潟市内や中央区内の地域福祉の推進のために大切に活用いたします。
みなさんのあたたかい気持ちを
つなぎます。



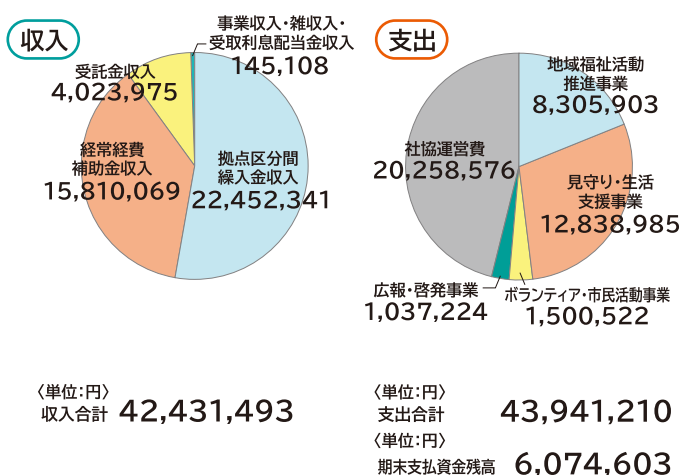
・新潟山野草友の会 様	10,000円
・上村康子 様	10,000円
・宗教法人 真如苑 様	200,000円
・新潟市教育相談センター ぐみの木教室 様	3,000円

中央区社協 令和4年度事業報告・決算 令和5年度事業計画・予算

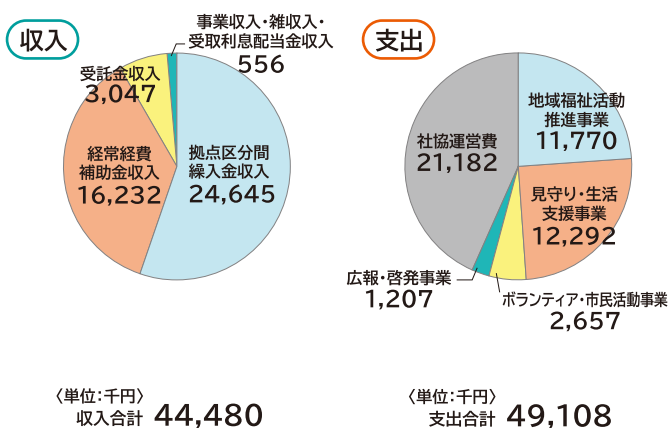
支えあい、ともに笑顔で暮らすまち「にいがた」



●令和4年度決算



●令和5年度予算



表紙活動紹介「絆の会」

川岸町三丁目で平成17年から防災に関する品物を作る活動を続けている「絆の会」。

月に数回、近隣に住む地域のみなさんが集まりミシンやアイロンを使って手作りしています。5年間で防災頭巾を700枚作成し、小・中学校や自治会を通して各家庭に配りました。現在は避難時に活用できるナップザックを作成しています。

